

農業委員会だより

新年のごあいさつ



渋川市
農業委員会 会長
山本彰一郎

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より農業委員会活動に対し、格別のご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

改正農業委員会法が施行され、農地利用の最適化（担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）等の本格的な推進が始まっております。農林業従事者の高齢化、農地の荒廃など、農業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。

農地中間管理事業の推進に関する法等の改正により農業委員会は、①農地の保有及び利用の状況、農地の所有者の農業上の利用の意向等の情報提供②農業者等による協議（「地域の話し合い」）への参加が明文化されました。農地を借りたい人、農地を貸したい人との架け橋になり、「地域の農地は地域で守る。」をスローガンとして、かけがえのない農地を未来に引き継ぐためにも本年も様々な課題に取り組んで参りますので、一層のご支援ご協力をお願いいたします。皆様のご健康とご多幸を心から祈念し新年のあいさつといたします。

～新規就農者の紹介～ 頑張ります！！



消費者に安全・安心な野菜の提供
「ナス・ズッキーニ・ブロッコリー・
下仁田ネギ」
大畠 将輝さん（赤城町長井小川田）



収穫最盛期のナス畑で抱負を語る大畠さん

高校卒業後、東京で就職するが地元愛と幼い頃からの夢である農業経営で地域の活性化に貢献したいとの思いで退職し、赤城町に戻りました。

農林大学校やJA赤城橘就農講座で就農に関わる全般の研修を受けて、沼田市利根町の農家で野菜の栽培技術や収穫作業・畑の管理等を学びました。農業への取り組みはもとより、10代・20代の若い人達に農業の良さを知ってもらい、就農する若者を増やしていきたいと同年代の人に声かけ等、実践しています。

現在の耕作面積は、30アールと小規模ですが、5年後には1ヘクタールまで増やし、「消費者に安全・安心な野菜の提供」ができるよう毎日、頑張っています。経営理念は、『すべてにキレイな農業!!』です。

アイメック農法による「トマト栽培」

向井 伸二さん（渋川市金井）

「これだ!!」と言。自身が初めての収穫したトマトの美味しさに喜びを感じたと笑顔で語ってくれた向井さん。

非農家であった向井さんが就農したきっかけは、幼い時からトマトが好物であったこととテレビで観た農園隊によるアイメック農法というものでした。

その後、島根県出雲市にある農園隊で218日間の実習・研修を受け、営農地である赤城町樽地内の農家の宅地を購入してハウス（380㎡）を建設、トマト栽培を開始しました。就農後も農園隊のフォローを受けながら日々、トマト作りに励んでいます。

今後目指すものは、営農規模の拡大とこの珍しい

農法で栽培された糖度の高いトマトの美味しさを広めていくことだと語ってくれました。

（主な栽培作物 中玉トマト）



丹精込めたトマトの魅力を語る向井さん

～生産者の紹介～ がんばっています！



～焼・煮・漬～「ズッキーニ栽培」

赤城橘野菜部 部長 萩原 教征さん（北橋町真壁）

豊かな自然に恵まれ、あらゆる農作物栽培ができる北橋地域で「何か名物となる野菜はないものか。」と赤城橘野菜部員で検討し、平成28年に地域担い手で野菜部ズッキーニ分科会を立ち上げ、平成30年には、総作付面積3.3ヘクタール、104トンの出荷量にまで規模が拡大した。今年、更に0.7ヘクタール栽培規模の拡大を図った。栽培は夏季は露地、他の季節は施設で栽培している。一番の苦労は、早朝の限られた時間しか開花していない雌しべの交配作業。

一花一花、手作業で行なう。現在、22名の仲間と栽培に汗を流している。「俺の顔写真より、焼・煮・漬、おいしいズッキーニを撮っていけ。」萩原部会長の言葉に栽培に対する自信とズッキーニへの愛情が感じられた。



令和元年度 農地等利用最適化推進 に関する意見書を提出

令和元年10月16日、市長に意見書を提出しました。意見書の要点を以下に掲載します。

- 1 農産物の価格の安定、農業所得の確保について、農産物の価格保証について、国・県への働きかけと生産性向上のため、土地改良事業施工済みの地域に対する再整備を要望します。
- 2 担い手育成について、農業のすばらしさ、楽しさを知ってもらおう場を設けるなど、若い人達に農業に関心を抱いてもらおう取り組みの推進をお願いします。
- 3 女性の農業社会への参画の推進 女性が今以上に農業者として社会参画できるように家族経営協定を推奨し、農業施策の中に位置づけていたいただきたい。また、農家カフェ、レストラン等の経営など女性が中心となつて農産物の生産、販売から消費まで取り組める補助や指導制度の創設をお願いいたします。
- 4 耕作放棄地の解消について、畑にトラクターが入り、耕作しやすい環境を整備をお願いします。



高木市長(右)に意見書を手渡す山本会長(左)

- 5 中山間地域に向けた事業について 現在の様々な補助制度は、適用要件が厳しく、中山間地域では利用できない。適用要件の緩和とともに市単事業の新設をお願いいたします。
- 6 野生鳥獣による農作物等への被害対策の強化について 渋川市鳥獣被害対策隊の活動の成果、活動について感謝申し上げます。有害鳥獣撲滅のためドローンを使用するなど生息地を把握しての集中駆除等をお願いいたします。
- 7 事務局体制の強化について 法律改正等により農地利用最適化事業に係る農業委員会業務が増加しております。業務に精通した職員を含め充実強化をお願いします。

担い手への農地集積状況報告

単位:ha

農業委員会では、平成28年度に「渋川市農業委員会農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を策定し、担い手への農地集積等目標達成のための活動を行っております。今年度、指針の見直しを行い目標集積面積を改めました。農地を貸したい方は地区の委員にご相談ください。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標集積面積	1,166	1,283	876.5
目標集積率	28.7%	31.9%	22.02%
実績集積面積	864	846	推進中
実績集積率	21.39%	21.25%	推進中

荒廃農地の広がり食い止めるために！

食料が不足していた昭和の初期は、農業が大変重要視されてきました。山林・原野を切り拓き、その後も時代にそって改良・整備を繰り返して、農業基盤としての農地を作り上げてきました。

今では、その大切な農地の荒廃が目立ちます。それは、厳しい労働力に対し、生産性・収益性の低さからくる農業離れが原因の一つと思われる。

しかし、今でも農地をしっかりと守り、生産性の高い効率的な農業経営をしている人もたくさんいます。将来、食の安全性の面からも日本の食糧の重要性が見直される時が必ず来ると思います。

農業委員会では、荒廃農地の発生防止・解消等を目的とした「農地等の利用の最適化の推進活動」をしています。市内の農地の遊休農地の割合を令和5年までに0パーセントとするよう国より示されましたが、平成31年3月末現在、遊休農地が183.4ヘクタールで、4.6パーセントであり、年々、遊休化していく農地が増加しております。全国的に農地の最適化が停滞する中、令和元年11月1日に「農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部を改正する法律」が施行され、農業委員・農地利用最適化推進委員が、「人・農地プランの実質化」として農業者等による地域の話し合いの場のコーディネートを担当することが明文化されました。改正農業委員会法が施行後、昨年4月に改選となり、2期目となる新メンバーでスタートいたしました。農地を守り

将来の農業の展望を見据え荒廃農地等の防止・解消活動に取り組みんでいますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

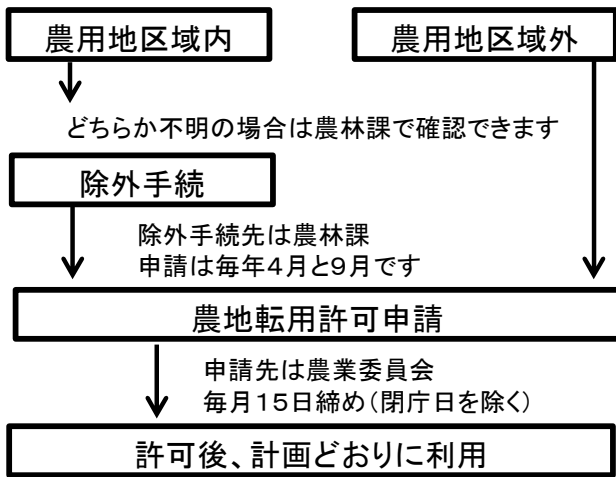


農地転用には許可が必要です

■無断転用は法令違反です
農地に住宅を建てる、資材置場や駐車場、太陽光発電施設にするなどの農地転用には許可が必要です。無許可で転用した場合は、元に戻していただくことになります。また、転用できない農地もありますので、事前に必ず農業委員会事務局までご相談ください。

■農地転用を申請する前に
農用地区域内の農地は、転用することができません。転用を希望する場合は、農用地区域からの除外手続を行い、認められから転用申請となります。詳しくは農林課（☎2593）へ。

「転用手続の流れ」



■一時転用や農地改良も申請を

農地を一時的に資材置場にしたり、農地を使いやすい農地にする改良工事も許可が必要です。



違反転用防止啓発看板（吹屋地内）

未相続のままの農地がありませんか？

■未相続のままにしておくと相続権者が増えて、登記に多大な時間と経費がかかることがあります。早めに法務局で相続登記をしましょう。併せて、農業委員会に届出をしてください。

「利用権設定」で農地の貸し借りを

■利用権設定は、耕作を目的とした農地の貸借方法です。貸借期間満了後は自動で農地が所有者に戻るため、安心して貸し出すことができます。

豊かな老後の支えに

農業者年金

60歳未満

国民年金第1号被保険者

年60日以上農業従事

この3つを満たせばどなたでも加入できます！

国民年金付加保険料 月400円 の納付も必要です。

- 1 国民年金に上積みする公的年金制度で、生涯受給できます。
- 2 積立てた保険料とその運用益で年金額が決まる確定拠出型です。
- 3 保険料は2万円～6万7千円から選べ、途中の見直しも可能です。
- 4 保険料は全額社会保険料控除の対象となる税制優遇があります。

詳しくは、JA窓口か農業委員会事務局へ

家族経営協定で農家も働き方改革！

家族経営協定は、農家の家族みんなが意欲的に働けるよう経営方針や役割分担、働きやすい就業環境・条件等について家族間で十分に話し合っ取り決めるものです。今年度は5組が締結されました。



石坂恵美さん、豊さん(石原)▽石坂英雄さん・絹代さん(石原)▽石田一成さん・恵治さん(赤城町長井小川田)▽森田拓哉さん・次一さん・智子さん(北橋町赤城山)▽柴崎誠至さん・信義さん・チヨさん(北橋町真壁)

農業委員・推進委員紹介

※(任期:平成31年4月1日から令和4年3月31日)

農業委員

(敬称略)

NO	地区	氏名
1	渋川	岸 正二
2		青木 明雄
3		大島 アサ子
4		高橋 昭彦
5	伊香保	眞下 謹司
6	小野上	野村 隆
7	子持	斉藤 美保
8		飯塚 敬子
9		山本 彰一郎
10	赤城	角田 壽一
11		須田 和敏
12		高井 眞佐実
13		新井 正喜
14		鳥山 孝子
15	齊藤 由香	
16	北橋	星野 安久
17		下田 三徳
18		石田 玉枝
19	※	廣瀬 淳

※農業委員会の所掌に属する事項に利害関係を有しない委員(中立委員)

農地利用最適化推進委員

(敬称略)

NO	地区	氏名
1	渋川	齋藤 光男
2		設楽 秀夫
3		都丸 政義
4		狩野 武
5		木村 克己
6		鈴木 孝明
7		登坂 勇
8		高橋 政守
9		俣田 英昭
10	伊香保	田中 修之
11	小野上	吉沢 良一
12		佐藤 繁巳
13	子持	八高 範夫
14		生方 通展
15		千明 幸雄
16		阿部 正雄
17		津久井 一美
18		阿久津 孝雄
19		小野 丈夫
20		飯塚 源一
21	赤城	岩崎 雅信
22	赤城	狩野 邦久
23		永井 重雄
24		茂木 幸雄
25		狩野 幸市
26		石田 初男
27		須田 清
28		内山 光司
29		生方 徳時
30		新井 健二
31		南雲 昇三
32		角田 正規
33	鳥山 正章	
34	永井 五平	
35	津久井 利章	
36	北橋	青木 歳行
37		今井 銀造
38		爲谷 賢司
39		楯 喜久男
40		奈良 嘉祐
41		高梨 兼秀
42	高橋 正次	

購読しませんか



全国農業新聞は農業委員会の系統組織が発行する“農家のための農業専門紙”です。週刊の特長を生かしたわかりやすく読み応えある記事が特徴です。毎週金曜日発行(郵送配達)、月700円(送料・税込)。申込は農業委員、農地利用最適化推進委員まで

【編集後記】

昨年5月1日に元号が平成から令和に改元となり令和2年となりました。皆さん、令和元年、どんな年でしたか。農地に関する相談は上記の委員まで。新広報委員10名で、はじめての「農業委員会だより」発行です。(眞)